

(社)日本詩人クラブ 2017年 9月 例会のご案内

日時 2018年9月8日(土) 14時～17時

会費500円(会員・会友も)

会場 早稲田奉仕園 リバティホール

〒169-8616 東京都新宿区西早稲田2-3-1 ☎03-3205-5411

*例会終了後、交流会を予定(サイゼリヤ) 会費3,000円

詩朗読 & スピーチ 峯澤典子氏 (練馬区)

秋田芳子氏 (さいたま市)

講演「わたしの詩への思い」

講師 中井ひさ子氏

講師プロフィール

★中井 ひさ子 (なかい ひさこ) 氏

1941年生まれ、奈良にて育つ。1975年より東京都杉並区に移り住む。自分のなかにあるものを解放したいと詩を書き始める。1981年詩誌「飛天」に参加。1995年に第1詩集『ドント・タッチ・ミイ』から、2003年『動物記』、2011年『思い出してはいけない』(第8回日本詩歌句協会奨励賞)、2017年、第4詩集『渡邊坂』を刊行。詩誌「二兎」「孔雀船」「4B」同人。日本詩人クラブ会員。日本現代詩人会会員。第51回日本詩人クラブ賞受賞。

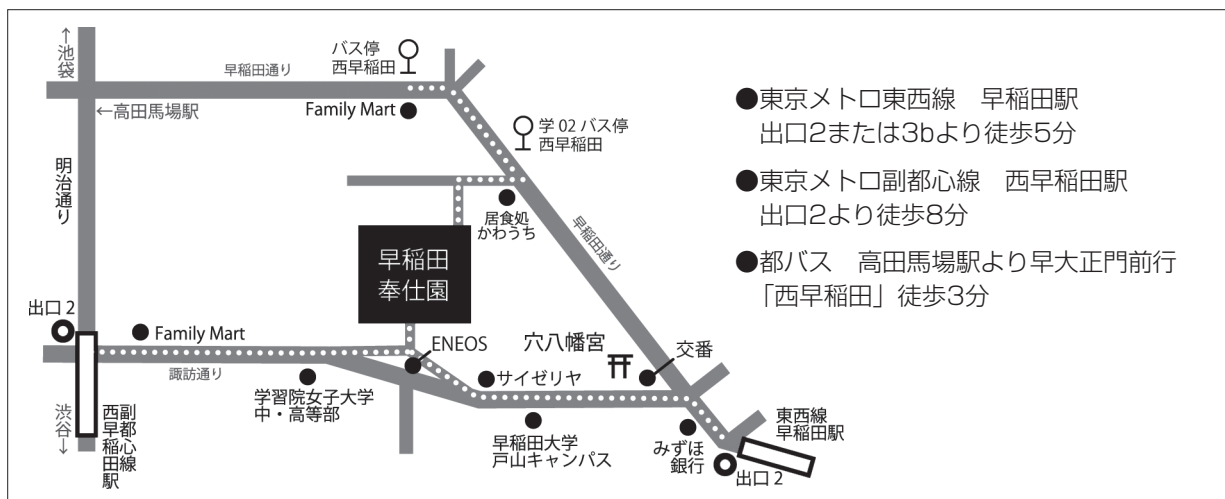
講演「なぜ女性詩人ノートを書いたか」

講師 たかとう匡子氏

講師プロフィール

★たかとう 匡子 (たかとう まさこ) 氏

1939年神戸市に生れる。神戸市在住。6歳で神戸、姫路と2度空襲にあい、56歳で阪神・淡路大震災に遭遇する。1961年から2004年で退職するまで43年間、高校の国語教師。詩集に『失われた調律』『危機たちの点描』『対話』『ヨシコが燃えた』『神戸・一月十七日未明』『ユンボの爪』『水よ一緒に暮らしましょう』『水嵐』『地図を往く』『学校』(第8回小野十三郎賞)『女生徒』ほか。エッセイ集に『竹内浩三をめぐる旅』『地べたから視るー神戸下町の詩人林喜芳』『神戸ノート』『私の女性詩人ノート』『私の女性詩人ノートⅡ』。絵本に版画家で絵本作家田島往彦氏との共著『よしこがもえた』がある。「遅刻」「火牛」同人ほかを経て、現在は「イリプス」同人。「時刻表」編集発行。第18回日本詩人クラブ詩界賞受賞。



例会担当理事 谷口典子